大学・高専機能強化支援事業
（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）【支援１】
事業概要

令和8年5月時点

１.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F102310100630
大学名	八戸工業大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	青森県
大学全体の総収容定員数	1,200 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	工学部　（工学科） 感性デザイン学部　（感性デザイン学科）		

２.事業概要

八戸工業大学のビジョンである**「工学×デザイン×地域」**を高度に深化させ、**成長戦略実行計画**に基づき、グリーン分野とデジタル分野を強化した新しい学科編成とする。併せて、現在の２学部体制の再構築についても検討を進める。

教育内容は、「八戸産官学連携推進会議（八戸市・八戸商工会議所・八戸市内の高等教育機関）」や昨年度発足した自治体関係者や企業で構成する「HITカーボンニュートラル人材育成協議会」等での協議を踏まえ、構築する。

エネルギー産業集積地である当地の状況を鑑み、主に**カーボンニュートラルに関する地域企業の課題からグローバルな課題の解決を図るグリーン分野での人材育成**を進める。

デジタル分野については、隣県内陸部は企業立地の促進や先端技術産業の振興が盛んな地域であり、地域企業との連携はもちろんのこと、これら他地域との連携を含め、**時勢に即した研究の活性化・充実化を図り、必要とされる技術者の育成**に努める。

３.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出予定	令和8年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	総合情報学部総合情報学科					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	青森県八戸市					
入学定員	100 名					
収容定員	400 名					
入学定員の増加数	50 名					
他学部等の入学定員の減少数	50 名					
改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出予定	令和8年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	先進工学部先進工学科					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	青森県八戸市					
入学定員	100 名					
収容定員	400 名					
入学定員の増加数	50 名					
他学部等の入学定員の減少数	50 名					
改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出予定	令和8年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	デザイン工学部デザイン工学科					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	青森県八戸市					
入学定員	100 名					
収容定員	400 名					
入学定員の増加数	50 名					
他学部等の入学定員の減少数	50 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

令和５年度選定　支援１　　八戸工業大学

＜基本情報＞

改組予定年度：令和９年度
改組内容：既存学部における学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名：総合情報学部総合情報学科、先進工学部先進工学科、デザイン工学部デザイン工学科
入学定員：【令和９年度新設】総合情報学科100名、先進工学科100名、デザイン工学科100名（デジタル・グリーン分野　改組後50名増）
所在地：青森県八戸市

＜改組の特徴・コンセプト・教育内容＞

八戸工業大学のビジョンである「工学×デザイン×地域」を高度に深化させ、成長戦略実行計画に基づき、グリーン分野とデジタル分野を強化した新しい学科編成とする。併せて、現在の２学部体制の再構築についても検討を進める。
教育内容は、「八戸産官学連携推進会議（八戸市・八戸商工会議所・八戸市内の高等教育機関）」や昨年度発足した自治体関係者や企業で構成する「HITカーボンニュートラル人材育成協議会」等での協議を踏まえ、構築する。
エネルギー産業集積地である当地の状況を鑑み、主にカーボンニュートラルに関する地域企業の課題からグローバルな課題の解決を図るグリーン分野での人材育成を進める。
デジタル分野については、隣県内陸部は企業立地の促進や先端技術産業の振興が盛んな地域であり、地域企業との連携はもちろんのこと、これら他地域との連携を含め、時勢に即した研究の活性化・充実化を図り、必要とされる技術者の育成に努める。
グリーン分野、デジタル分野とも、これからの社会課題解決に必須な「デザイン思考」を育成をすることを目的に、感性デザイン学部で培ってきた教育プログラムをこれまで以上に融合することで、「工学×デザイン×地域」を高度に深化させた人材育成教育の構築と実践を進める。

＜主な計画内容と背景＞

八戸工業大学は他大学に比し、一早く自己点検・評価活動を開始し、工学部全分野にわたりJABEE（日本技術者認定機構）認定の実績もあり、それらを基盤として外部評価も充実させ、PDCAサイクルを構築した。今回の計画もその体制に準拠し進めていく。既に全教員の３割以上の実務家教員が在籍していることから、新たな大学設置基準の基幹教員として採用し、企業等との事前協議を踏まえた教育内容を構築する。
教育内容の充実とともに、産学連携研究の充実を図り、教員の研究シーズの知財化を推進し，これらの知財を活用した社会実装のグリーン成長分野とデジタル分野の研究の活発化・充実化を図り，同時に，外部資金を獲得する計画である。
学生確保については、理系女子支援など新たな層を視野に入れ、学生確保に努める。

